

水稲トビイロウンカ対策に成熟期を迎えた圃場では 適期の刈り取りを！

病虫害防除所が10月7～8日に行った巡回調査によると、県中南部地域の広域でトビイロウンカによる坪枯れ圃場が多く認められています。これまで病虫害防除所は、トビイロウンカについて発生予察注意報第3号(7月9日)、発生予察警報第1号(8月19日)、植物防疫情報第8号(9月3日)及び植物防疫情報第10号(9月25日)を発表し、防除の徹底をお願いしてきたところですが、被害が激しい圃場では圃場全体が枯れ上がる状態も見受けられます。今後、収穫が遅れないよう、成熟期を迎えた圃場では、適期収穫に努め、被害の拡大を防いでください。

《防除対策》

本虫は圃場内で局所的に生息することから、本虫の発生状況を確認するためには、圃場の中央部まで入りながら、なるべく多くの株元を観察する必要があります。

すでに坪枯れの症状が発生している、またはトビイロウンカが多く坪枯れの発生が予想される圃場では、農薬使用基準の収穫前日数をよく確認して農薬散布を行う。また、成熟期を迎えている圃場では、適期収穫に努め被害の拡大を防ぐ。



県南部におけるトビイロウンカ
の被害状況

この情報は、発生予察注意報第3号、発生予察警報第1号、植物防疫情報第8号及び植物防疫情報第10号とともに、岡山県病虫害防除所ホームページでも公表しています。

アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/>です。

